

改正後

受講者出欠報告書 総括票(訓練実施基本奨励金支給申請関係書類)(~20人)

① (平成28年10月14日~平成29年1月13日分)

株式会社□□□□  
200000000  
○○○○○○基礎科  
■訓練番号 4-●●-01-01-00-0000

① 支給申請を行う訓練期間を記載します。  
(=支給対象期間)

⑤  
・出席率は支給申請を行う訓練期間(支給対象期間)における④総出席日数÷③総訓練日数で算定します。  
・小数点以下は切り捨てます。

番号	①受講者名	②就職支援計画を作成した公共職業安定所	③総訓練日数	④総出席日数	⑤支給対象期間の出席率	⑥支給対象期間の出席率が8割未満の場合、出席率8割以上の支給単位期間の数
1	芦別 冬子	滝川	56	52	92%	
2	岩見沢 夏子	岩見沢	56	55	98%	
3	宇登呂 太郎	札幌	56	55	98%	
4	江差 陽太	江別出張所	55	42	76%	2
5	帯広 海	帯広				
6	木古内 咲	函館				
7	札幌 陸	札幌 (職業相談第三部門)				
8	鹿追 雪	帯広				
9	寿都 久美子	岩内				
10	津別 あかね	美幌分室				
11	弟子屈 草太					
12	苫小牧 健太					
13	室蘭 牧(旧姓 泊村)					
14	名寄 大樹	名寄	56	53	94%	
15	稚内 青子	稚内	11	11	100%	
16	小樽 光	○	37	37	100%	
17	静内 さくら	○	37	34	91%	
18						

施設名ではなく機関名です。

免除者

⑧

⑧  
・公共職業安定所名については、就職支援計画書(様式第4号第1面)の管轄公共職業安定所又は管轄地方運輸局欄のとおりに記載します。

※注意※  
平成30年4月より札幌公共職業安定所の表記については、「札幌」と「札幌(職業相談第三部門)」の2通りございます。

⑦  
職業能力開発講習の免除者に○を記載します。  
(基礎コースのみ)

⑦

②  
・受講者名は五十音順に受講者名簿(様式A-28 別添1)と同じ順番通りに記載します。  
・中途退校者や出席率が80%未満の受講者も記載します。  
・訓練受講中に姓が変わった場合には、(旧姓 ●●)と追記します。  
・途中入校者がいた場合は、通常の見学受講者の下に職業能力開発講習の免除者の名前を五十音順に記載します。

③  
・支給申請を行う訓練期間(支給対象期間)における出席管理の対象となる訓練日数を記載します。  
(中途退校者は中途退校日までの訓練日数を記載します。)  
・職業能力開発講習の免除者の総訓練日数は免除した日数を引いた数字を記載します。

⑥  
・支給申請を行う訓練期間(支給対象期間)における出席率が80%未満の受講生についてのみ、各支給単位期間(1か月単位)について出席率が80%以上の支給単位期間の数を記載します。

④  
・支給申請を行う訓練期間(支給対象期間)における出席日数(1日出席と1/2出席の合計)を記載します。(中途退校者は中途退校日までの出席日数を記載します。)

⑥の欄は、⑤の「支給対象期間の出席率」が8割未満の場合の  
・免除者欄については、職業能力開発講習の受講免除者に該当